

令和5年度学校自己評価報告書

学校自己評価について

<教育理念>

整備士教育を通して 自動車産業の発展と 車社会の安全に貢献する

<教育方針>

人格を形成し 技術と人間性を兼ね備えた社会人を育てる

<教育スローガン>

プロ意識をもち 時代に即応した技術の習得

整備士国家試験 100%合格

卒業時における 100%就職

本校では上記「教育理念」「教育方針」「教育スローガン」のもと学校運営、生徒の教育に日々努めております。

また、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を基とした学校自己評価に毎年取り組みを行い、現状の把握及び今後の課題改善に取り組み、実施しております。

<令和5年度学校自己評価>

●学校自己評価委員会

委員長 理事長・校長

委員 理事、理事長室室長、副校長、教頭

●対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

●実施方法

- ・学校自己評価委員会を中心に職員全員による評価を実施。
- ・評価項目は「専修学校における学校評価ガイドライン」を基とする項目で実施。
- ・評価は年1回年度末に実施。
- ・結果の公表はホームページに掲載する。

下記は令和5年度学校自己評価の結果です

令和5年度 学校評価

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切
1：不適切 0：未記入

職員評価

項目 1 教育理念・目標

学校の理念・目標・育成人材像は定められているか

4 3 2 1 0
88.2% 11.8% 0.0% 0.0% 0.0%



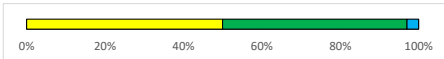
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか

4 3 2 1 0
76.5% 23.5% 0.0% 0.0% 0.0%



学校の理念・自的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか

4 3 2 1 0
50.0% 47.1% 2.9% 0.0% 0.0%



項目 2 学校運営

目的に沿った運営方針が策定されているか

4 3 2 1 0
67.6% 29.4% 2.9% 0.0% 0.0%



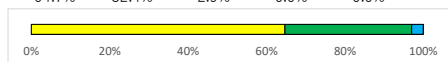
組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

4 3 2 1 0
58.8% 32.4% 8.8% 0.0% 0.0%



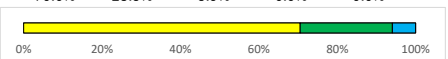
学則・細則その他の規定等は整備されているか

4 3 2 1 0
64.7% 32.4% 2.9% 0.0% 0.0%



業界や地域社会等に対する法令遵守体制が整備されているか

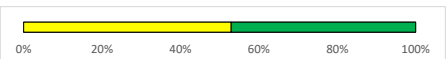
4 3 2 1 0
70.6% 23.5% 5.9% 0.0% 0.0%



項目 3 教育活動

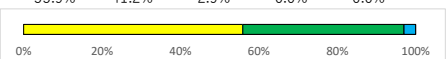
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

4 3 2 1 0
52.9% 47.1% 0.0% 0.0% 0.0%



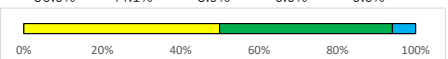
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

4 3 2 1 0
55.9% 41.2% 2.9% 0.0% 0.0%



関連分野の企集・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

4 3 2 1 0
50.0% 44.1% 5.9% 0.0% 0.0%



項目 4 学習成果

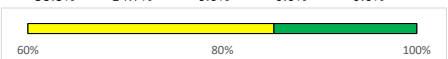
就職率の向上が図られているか

4 3 2 1 0
97.1% 2.9% 0.0% 0.0% 0.0%



資格取得率の向上が図られているか

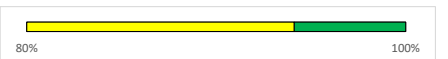
4 3 2 1 0
85.3% 14.7% 0.0% 0.0% 0.0%



項目 5 学生支援

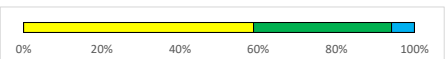
進路・就職に関する支援体制が整備されているか

4 3 2 1 0
94.1% 5.9% 0.0% 0.0% 0.0%



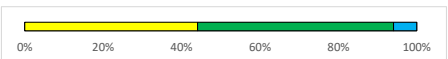
学生の健康管理を担う組織体制はあるか

4 3 2 1 0
58.8% 35.3% 5.9% 0.0% 0.0%



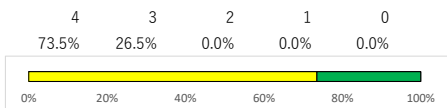
保護者と適切に連携しているか

4 3 2 1 0
44.1% 50.0% 5.9% 0.0% 0.0%

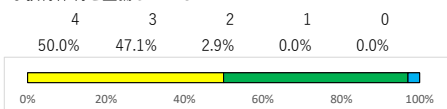


項目 6 教育環境

施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

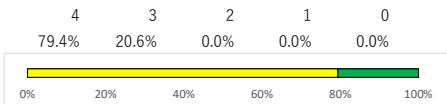


学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか



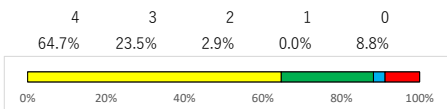
項目 7 学生の受入れ募集

学生募集活動は、適正に行われているか

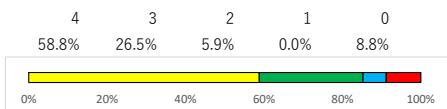


項目 8 財務

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

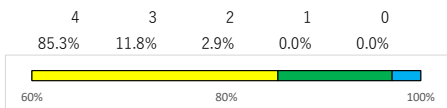


財務情報公開の体制整備はできているか

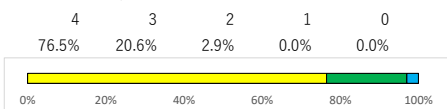


項目 9 法令等の遵守

法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

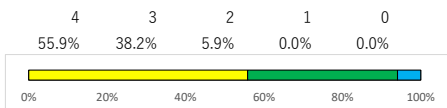


個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

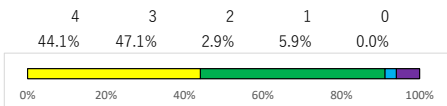


項目 10 社会貢献・地域貢献

学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

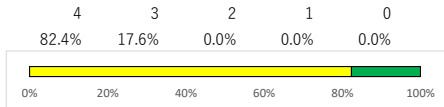


学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

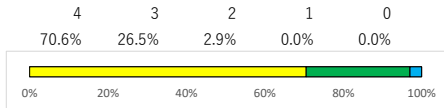


項目 1 1 国際交流

留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか



留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか



令和5年度学校自己評価に対する現状及び課題と今後の取り組み

1. 教育理念・目標

・現状及び課題

学校の理念、方針、目標等については創立時から学校運営の柱として確立されているが、時代の変化が速く著しいので、これらの状況をも踏まえて、時代に適応できる「社会性」を身につけさせていく必要性がより高まってきている。従ってこれらに的確に対処出来るよう今後とも幹部の自覚を促し職員の意識改革を図らなければならない。

・今後の取り組み

教育の基本である、人格の形成や必要な知識を身に付けさせる為には、指導する職員の資質の向上を図らなければならない。その為、職員に対する現場指導や意見の吸い上げ、幹部会議等を定期的に開催して、意識改革を図る等、学校全体のレベルアップに取り組んでいく。

2. 学校運営

・現状及び課題

運営の基本となる諸規則等が整備されており、これらに基づき諸業務が遂行されている。内外の変化に対しても学校全体として取り組み成果を挙げているが、今後は組織全体として環境対策を認識して一人ひとりが実力を身に付けるべく研鑽を図っていかなければならない。

・今後の取り組み

運営方針等組織を構成する職員個々に徹底させていく為には、牽引していく幹部職員の研修や教育等を確実に実施していく。更に平素より問題意識を共有するなどして、学校関係者、地域社会から信頼される運営に努める。

3. 教育活動

・現状及び課題

基本となるカリキュラム等は規定に明示して実践している。また、企業や業界団体等との連携を図りながら時代の要請に応えられる学生の育成に努めている。

今後環境問題等の進展のテンポが加速する自動車業界に適応出来る様に職員の自己研鑽と指導を徹底していく必要がある。

・今後の取り組み

ハード、ソフト両面と併せ、中核となる職員の資質向上、スキルアップを図る為、メーカー等の協力も得ながら新しい技術等の研修を恒常的に実施していく。これらを確実に実践していくことにより、社会的な期待や業界のニーズに応えられる様に体制確立を図っていく。

4. 学修成果

・現状及び課題

時代の変化に伴い、企業が求める人材も多様化してきているので、内部の指導体制も整備強化を図り、学生のサポートを組織としてバックアップすることにより各種資格の取得等、スキルアップの一層の向上、充実を図る。

・今後の取り組み

学生の構成は日本人、留学生が拮抗している状況にあることから、人間関係、金銭問題等様々な問題が派生する可能性を考え、早期に兆候を把握して対応する等、日常の目配り、気配りを継続的に実施して、親身になって学習に専念出来る環境整備に努めていく。

5. 学生支援

・現状及び課題

日常の学生指導を通じてニーズを把握するよう努めている。また、学内の進路指導部は常にオープンにして相談しやすい環境整備に努めている。将来を展望した広範な就職先企業の開拓も通じている。生活面では学生寮を大幅に増やして、物心両面の支援を実施している。

・今後の取り組み

学生を支える体制、活動も整っているが、保護者の要望等も多種多様になってきているので今後とも緊密な連携を図りながら学生の立場に立った、より柔軟でよりきめ細かい支援が出来る様に、職員の意識改革を図っていく。

6. 教育環境

・現状及び課題

学校の教育施設は基準を充分満たしており、社会のニーズにも沿っている。また、インターンシップ活動は企業連携のもと実施して成果を挙げている。最近頻発している地震等の災害対策対応も考慮して訓練を定期的の実施し、現実的な危機対応に備えている。

・今後の取り組み

自動車産業の進歩、変化が著しいことから、これらに対応出来る教育設備等の充実を中、長期的計画で推進し、常に社会のニーズに応えられる様にしていく。学生定員や留学生比率も国内における外国人労働者の雇用拡大等を念頭に入れながら検討を進めていく必要がある。

7. 学生の受け入れ状況

・現状及び課題

18歳人口の減少等厳しい環境下にあるが、業界における人手不足等からニーズが高まってきている。これらに対応するため広報活動を更に強化するとともに、企業推薦制度等を活用するなど多面的、継続的な募集活動を展開していく必要がある。

・今後の取り組み

現在ほぼ同数に近い日本人学生、留学生の割合は堅持しつつ、幅広い年齢層にも門戸を開いて社会の要請に応えられる様、工夫を重ねていく。

8. 財務

・現状及び課題

本校の財務は規定に基づき、理事会、評議委員会での決算、予算編成が実施されており、また、公認会計士による指導点検、監査も行われ、適正な評価を得ていることから今後も引き続き公正な経理処理を実施していく。

・今後の取り組み

今後入学者数の減少も予想されることから、それに伴う歳入減少等も念頭に入れて、変化に対応出来る収支バランスを考慮するとともに、運営コストの削減等に努めて財務体質の強化を図っていく。

9. 法令等の遵守

・現状及び課題

諸業務や報告等は法令に基づいて適正に遂行されている。情報管理はパソコンのパスワード設定を厳格に行っている。また、自己評価については教職員、学生、保護者のアンケートを踏まえ学校運営に反映されている。

・今後の取り組み

法令遵守は教育機関としては重要な要素であることから、職員に対する遵法精神の徹底を図っていく。また、個人情報の保護管理は更なる注意喚起を促しながら確実に実施していく。

10. 社会貢献・地域貢献

・現状及び課題

学校施設を業界、地域活動、講演会等の階催場所、提供要請に応え申し出に積極的に応じている。中学生の職場体験は県内外を問わず引き受けており、理解を深めることにつながっている。また、地域活動は清掃活動等を積極的に実施し相互理解を深めている。

・今後の取り組み

恒常的に行っている活動を理解してもらう為にも学生指導を一層強化して、騒音問題や環境問題が派生しない様、地域との意見交換会を開催する等目配り、気配りをしながら共存共栄出来る体制作りを努めていく。

11. 国際交流

・現状及び課題

学生全体の半分近くが留学生であることから、日本人学生との交流を効果的に推進する一方、日本における生活習慣等を分かりやすく指導する等積極的なコミュニケーションにより相互理解が進展する様ように体制強化を図っていく。

・今後の取り組み

今後の学生の比率は予想し難い面もあるが、変化に的確に対応出来る受入れ体制、指導体制を強化した信頼される学校運営に努めていく。

生徒及び保護者による学校評価について

本校では生徒及び保護者にも学校評価を依頼し、今後の学校運営、教育活動に役立ててまいります。

下記は令和5年度の学生、保護者の学校評価の結果です。

令和5年度 学校評価

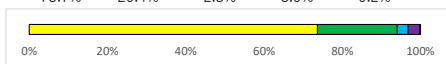
実施日：令和6年1月22日

対象学生：全学生539名

学生評価

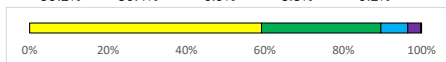
項目 1 様々な資格を取得するための体制が整っていると思う。

4 3 2 1 0
73.7% 20.4% 2.8% 3.0% 0.2%



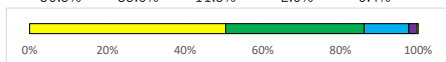
項目 2 先生は、授業で理解出来ない所を解るまで丁寧に教えてくれる。

4 3 2 1 0
59.2% 30.4% 6.9% 3.3% 0.2%



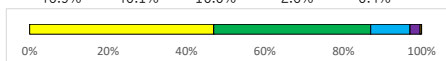
項目 3 先生は、授業で関心や意欲を高める授業を目指して工夫してくれる。

4 3 2 1 0
50.5% 35.6% 11.5% 2.0% 0.4%



項目 4 授業の説明は分かりやすい。

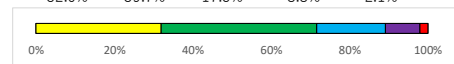
4 3 2 1 0
46.9% 40.1% 10.0% 2.6% 0.4%



保護者評価

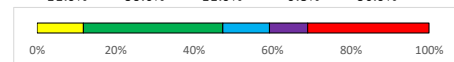
項目 1 学校は、学生の学習や活動について保護者への連絡を行なっている。

4 3 2 1 0
32.0% 39.7% 17.5% 8.8% 2.1%



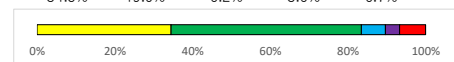
項目 2 学校は、日常の教育に保護者の要望を取り入れてくれる。

4 3 2 1 0
11.9% 35.6% 11.9% 9.8% 30.9%



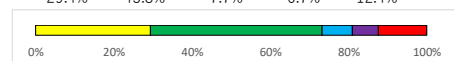
項目 3 学校は、学校指導が充実しており学力向上に十分な成果を挙げている。

4 3 2 1 0
34.5% 49.0% 6.2% 3.6% 6.7%

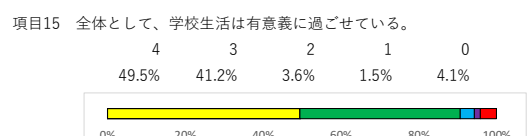
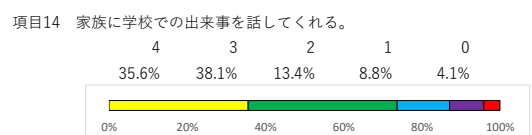
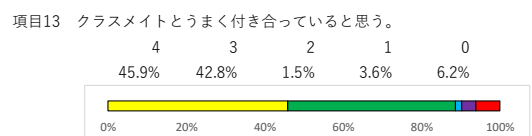
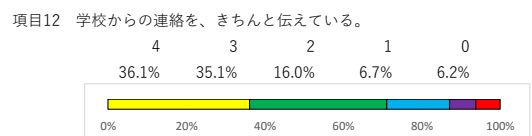
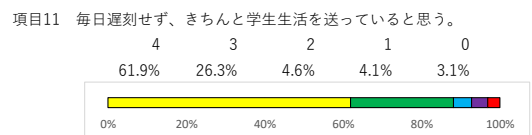
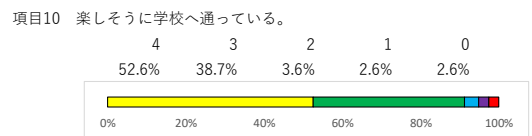
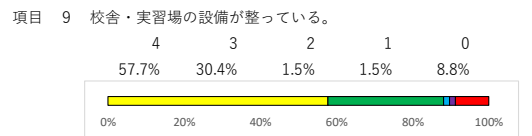
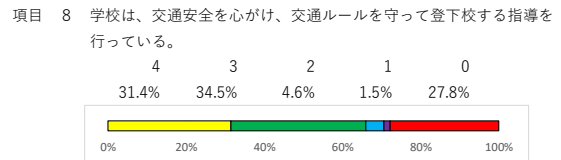
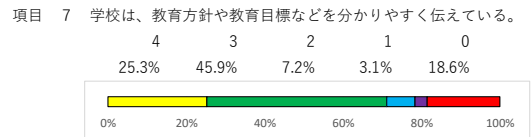
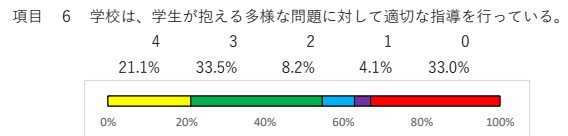
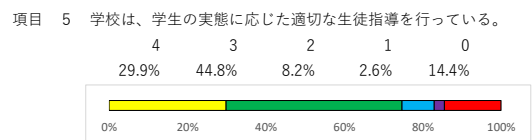
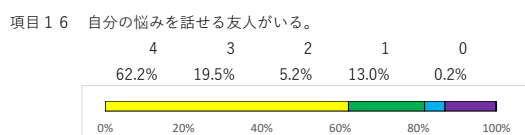
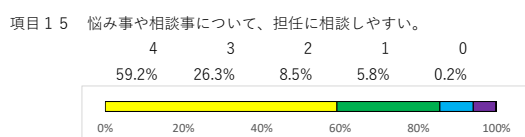
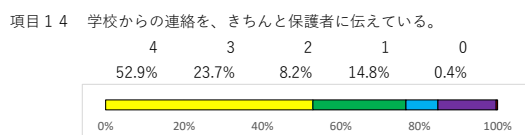
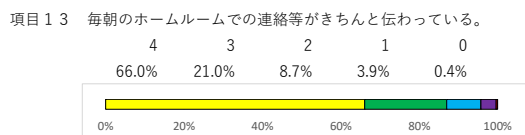
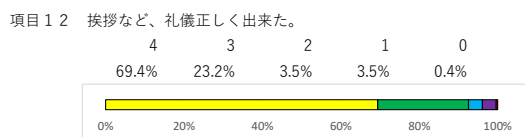
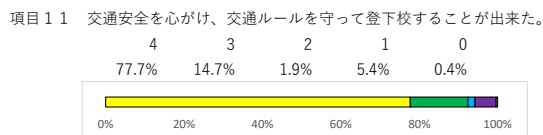
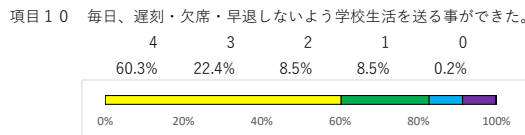
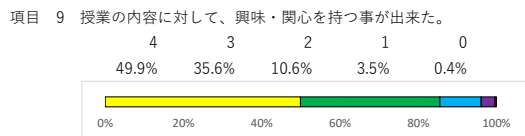
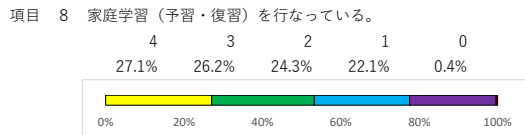
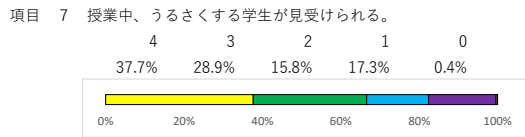
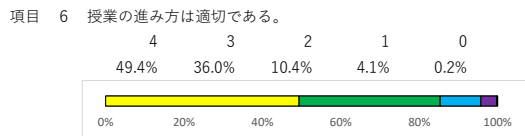
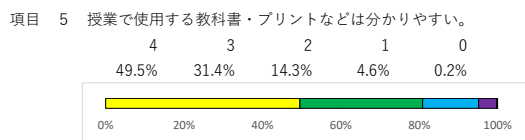


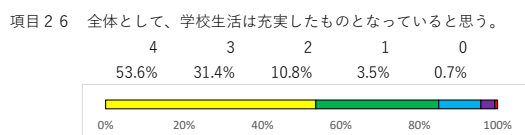
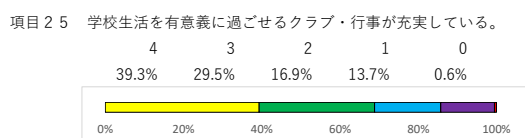
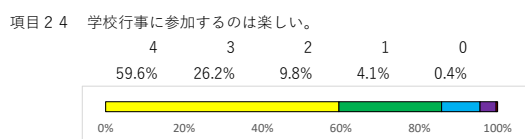
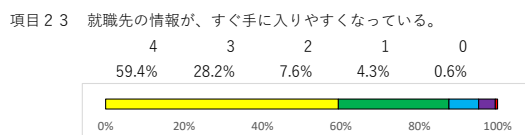
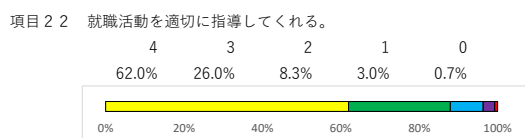
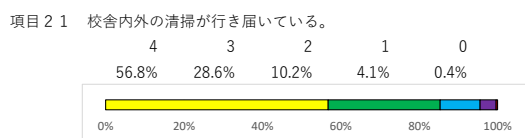
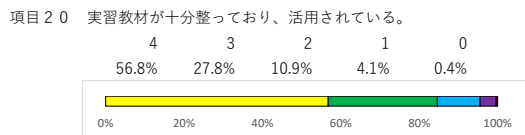
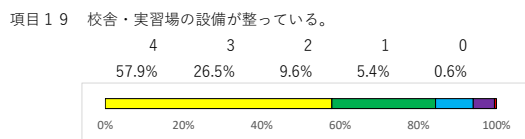
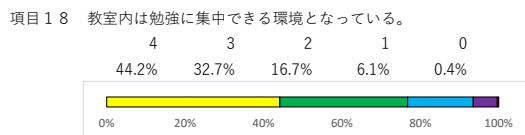
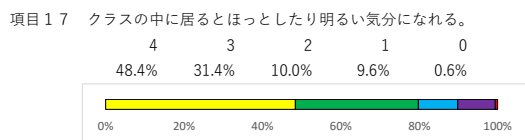
項目 4 学校は、進路に関する連絡や情報を行なっている。

4 3 2 1 0
29.4% 43.8% 7.7% 6.7% 12.4%



4：そう思う 3：どちらかと言えばそう思う 2：どちらかと言えばそう思わない
1：そう思わない 0：わからない(未記入)





令和5年度生徒、保護者の学校評価に対する現状及び課題と今後の取り組み

1. 学生評価
・現状及び課題

教育理念目標、教育活動、学習評価、学生支援及び教育環境に関し、全校生（新入生を除く）によるアンケートを実施、昨年度同様、概ね教職員評価に沿ったものとなっており、教育活動は良好と判断しており、明確な方針の基、継続実施している。

・今後の取り組み

指導基準に基づいて計画的な授業を行っているなか、進捗度合に少数ではあるが温度差が見受けられる為、それらをカバーする補習授業等により豊かな感性を備えられる学生を育てていくことに傾注しており、継続実施している。

2. 保護者評価

・現状及び課題

教育活動、学習評価、学生支援、教育環境に関し、全校生（新入生除く）保護者によるアンケートを実施、昨年度同様学校生活は有意義に過ごしており、良好と判断している。少数意見として学校生活の内容等、保護者とのコミュニケーション不足が感じられる部分が見受けられる。今後の課題として検討を図りたい。

・今後の取り組み

教育活動については概ね良好と判断されるが、本校の教育活動の内容を保護者へ便り等で知らせ、理解を深めていくように努力を継続していく。